

総括評価表

重点課題	重点目標	評価の指標と活動計画		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方法
		評価指標	評価指標による達成度		
生活習慣の確立ができていない。学習に対する目的意識が低い生徒が多い。	(全体レベル) 全教職員の共通理解のもと、家庭・専門機関等との連携を密に信頼感に満ちた生徒指導を推進する。	(1) 教師の説明の仕方が、わかりやすいと思う生徒の割合 80%以上	(1) 評価指標より低いですが、76.6%と8割近い生徒が、わかりやすいと回答した。	B (所見) 評価指標を達成できなかった項目もあったが、教材を工夫・改善し、生徒の学習に対する意欲がでてきた。	教科によるのかもわからない。私は、76.6%を高い数値と考える。年3回の車両点検の回数は良い。これからも安全に通学していただきたい・少しではあるが、増えているのは良いことである。 今後とも、常に無事故を心がけた指導を続けてほしい。 挨拶ができる学校は、とても明るいと思う。学校生活が楽しい事が感じられる。出席率が高いが、勉強を真剣に受けていない生徒もいるのでは。補講する生徒が増えれば、他の生徒の気が緩むのでは。
		(2) 通学使用車両点検の実施 3回/年	(2) 通学使用車両点検の実施を3回/年実施した。生徒の交通安全への意識は高まっている。		
		(3) 出席率 90%	(3) 出席率は90.3%と評価指標を上回ったが、授業よりも、行事の欠席が目立った。		
		(4) 交通事故(加害)発生件数 0件	(4) 交通事故(加害)発生件数は、0件であった。		
		(5) 「あいさつ」実施率 80%	(5) 「あいさつ」実施率は80%で、学年が上がるにつれて挨拶のできる生徒が増えてきた。		
		(6) 要補講生徒の減少 30%以下	(6) 要補講生徒数は、34.1%と目標指標に到達できなかった。		
	(下位組織レベル) [生徒指導課] ①交通安全教育の徹底 ②いじめの早期発見・対応	[活動計画] ①学校周辺の巡視を日常化する。 ②生徒の情報を教員で共有し、いじめの早期発見・対応に努める	[活動計画の実施状況] ①始業前に学校周辺の巡視と校門指導を行い、適宜、交通マナー等について指導を行った。 ②いじめ問題についてはなかった。連絡会以外でも、職員室内で生徒の情報交換を行った。	登下校のあいさつを全員ができるように、教師の方から積極的に声かけをし、生徒全員があいさつをできるように努めたい。	
	[教務課] ③欠席者の減少	②原付等通学使用車両の点検を行い、 ③備不良車、違法改造車等の使用禁止する。	②原付・自動車の通学許可願いの提出を徹底し、必要に応じて個々に整備不良箇所の整備や修理の指導を行った。		
	[人権教育課] ④実践力を育む人権教育の推進	④欠課時数が基準を超えた場合の補講を徹底する。	③欠課時数が要補講数を超えた場合、全職員が協力して補講を実施した。補講は原則学校で行っている。		
		⑤教員の人権教育研修会を毎月実施する。	④ 教員の人権教育研修会を毎月実施した。講師を招いての講演会を、2回実施した。		

総括評価表

重点課題	重点目標	評価の指標と活動計画		評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方法
		評価指標		評価指標による達成度	総合評価		
進路に対する意識が希薄な生徒が多い 多様な生徒に即した進路指導と関係機関との連携・協力が必要である。	(全体レベル) 生徒に卒業後の目標を持たせる。 生徒の基礎学力を定着させるとともに、さらなる学力の向上を目指す。 定時制単独の求人を獲得するとともに、キャリア教育を推進する。	生徒の授業中での充実度 80%	80%	生徒の授業中での充実度(まあま充実を含む)が約90%ある。	(評定) B	学校に来るのが楽しい生徒が多いと感じる。 目標を見つけられない生徒がいるのでは。高校を卒業してからの進路はその後の人生に大きく関わるので、進路を真剣に考える必要性を、もっと教えていただければと思う。 求人票情報は、重要な事なので、今後も続けてほしい。 Hpの早い更新は、これからも続けてほしい。	授業での生徒の充実度を高めるために、授業内容の創意工夫が必要である。 「絵本の読みきかせ」を多くの教科で、積極的に取り入れていくのも一つの方策である。 定時制への求人は今までと変わらず、厳しいことには変わりなかった。 今後も、本人の希望に合わせて企業を訪問したり、面接対策を早期から実施すること
	(下位組織レベル) [進路指導課] ①個性・能力の伸長と適切な進路サポート ②進路情報の収集と確実な伝達 ③総合的な学習の時間の中で、外部講師を招いたキャリア教育を実施する。 ④学習意欲の喚起 [情報課] ⑤学校行事をホームページに速やかにアップロードする。	(1)校内進路説明会参加率 90%以上 (2)求人情報収集 毎週 (3)基礎学力コンペ 5回 (4)各学校行事をホームページを通して保護者への広報活動 行事終了後2日以内	90%以上 毎週 5回 行事終了後2日以内	(1)校内進路説明会参加率は、82.0%と評価指標をしたまわった。特に、全学年対象の講演会の日に欠席が目立った (2)求人情報収集は、毎週欠かさず収集を行い各学年に配布した。 (3)基礎学力コンペは、5回実施した。 (4)各学校行事をホームページを通して保護者への広報活動を積極的に実施した。			
		活動計画	活動計画の実施状況				
		①校内進路説明会を計画的に実施する。個別に進路相談、ガイダンスを実施する。	①6/30に3・4年生を対象にした校内進路説明会を実施した。11/17に全学年を対象にした進路講演会を実施した。卒業予定者については、就職・進学希望者ともに個別に進路相談を実施した。				
		②ハローワーク、全日制就職課と連携しながら、定時制単独の求人を獲得すべく、職場訪問を計画的に実施する。	②ハローワーク鳴門への訪問、求人情報の収集、電話等での情報交換を行い、個別の事案ごとに相談、支援を受けた。				
		進路情報の必要な生徒に対して個々のケースに応じて、適宜、個別対応をする。	進路希望調査やHR担任との面談の結果を基に必要な進路情報を提供した。				
		③個々の興味や関心に応じた受講科目を設定し、資格取得や技能アップを目指す。運転免許等の就職にも有利である各種資格取得の奨励。	③今年度から総合的な学習の時間の中で、資格取得を目的としたキャリア教育を実施した。パソコン検定や危険物取扱の資格取得の講座を開講し、6時間外部講師を招聘した。また、自動車・自動二輪車等の運転免許の積極的な取得の奨励した。				
		④読み・書き・算といった基礎・基本的な学力の底上げを図る。	④各教科における創意工夫を基本とし、定期テスト以外に実施される読み・書き・計算を主体とした実力テスト(基礎学力コンペ)によって、学習意欲と達成感を身につけた。				
		3年次における進路意識の向上と学習意欲の拡大。	3年次において進路が決定できた生徒に対しては、進路に応じた過去問題等を使用させ、個別かつ具体的に対応した。				
		⑤各学校行事終了後、活動記録をホームページにアップロードする。	金曜日の行事以外では行事終了後、2日以内にアップロードできた。ネットコモンズへ切り替えてからは、作業もスムーズになった。				